

病害虫防除技術情報 第1号

富山県農林水産総合技術センター所長

ウメ輪紋ウイルス感染植物の早期発見にご協力を

ウメ輪紋ウイルス（PPV）は、ウメ、モモ、スモモなどのサクラ属等の植物に感染し、ウメ輪紋病などを引き起こして大きな被害を与えます。本ウイルスは、近年、海外から侵入した重要病害で、国が中心になって病気の根絶・まん延防止対策が行われています。

発生する植物 : ウメ、モモ、スモモなど（栽培樹、庭木、盆栽）

伝染方法 : 接木、アブラムシ

広域的な拡散 : 感染した苗木や盆栽うめ等の鉢植えの移動・流通

注) このウイルスはウメ、モモなどの植物に感染するウイルスです。**ヒトや動物に感染しません**。葉にさわったり、感染している木の果実を食べても健康に影響はありません。

本病の発生拡大を防ぐためには、早期に発見して防除対策を講じる必要があります。そこで、本病の特徴である葉の輪紋症状などを発見した場合は、速やかに最寄りの植物防疫所あるいは県担当機関にお知らせください。

連絡先 :

農林水産省名古屋植物防疫所 伏木富山支所 TEL : 0766-44-0954

富山県農林水産総合技術センター農業研究所 病理昆虫課 TEL : 076-429-5249

富山県農林水産部 農業技術課エコ農業推進係 TEL:076-444-8292

見分け方のポイント

葉に生じる退緑斑紋（緑色の薄い部分ができる症状）や輪紋症状（ドーナツ状の輪ができる症状）が特徴です。なお、この症状は春の新葉が展開する時期に明瞭ですが、夏には不明瞭になるので注意が必要です。

詳しくは次項のパンフレットや農林水産省のホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/ppv/ppv.html

**葉にドーナツ状の輪があるウメなどを探しています!!
ウメ輪紋ウイルスに感染している可能性があります。**



- ウメ輪紋ウイルスに感染したウメでは、葉にドーナツ状の輪(輪紋)などが生じます。
- モモなどでは、葉脈に沿って緑色の薄い部分(退緑斑紋)が生じます。
- 症状は、新緑の時期(春に出た葉が開いた頃)が一番明瞭です

写真のような症状がある場合には、お近くの農林水産省植物防疫所や都道府県の病害虫防除所にご連絡下さい。

ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス(PPV))について

- PPVは、ウメ、スモモ、アンズ、モモ、ユスラウメなどに感染し、欧州では、果実が成熟前に落果するなどにより大きな被害が発生しているとの報告があります。
- この病気は、種子や果実から他の植物に感染することはありません。
- 農林水産省では、植物防疫法に基づき、感染植物や感染するおそれのある植物の移動規制を行うとともに、感染植物の伐採を行う緊急防除を実施中です。
- **ヒトや動物に感染することはありませんので、果実を食べても健康に影響はありません。**

お問い合わせ先：各地の農林水産省植物防疫所へ(連絡先は裏面)

〔植物防疫所の住所及び連絡先〕

（北海道・東北・関東）

横浜植物防疫所 業務部国内検疫担当

住所：横浜市中区北仲通5-57

電話：045-211-7155

（東海・北陸）

名古屋植物防疫所 輸出及び国内検疫担当

住所：名古屋市港区入船2-3-12

電話：052-651-0114

（近畿・中国・四国）

神戸植物防疫所 業務部国内検疫担当

住所：神戸市中央区波止場町1-1

電話：078-389-5320

（九州）

門司植物防疫所 輸出及び国内検疫担当

住所：北九州市門司区西海岸1-3-10

電話：093-321-2809

（沖縄）

那覇植物防疫事務所 輸出及び国内検疫担当

住所：那覇市港町2-11-1

電話：098-868-1679

（参考……農林水産省ホームページ）

○ ウメ輪紋ウイルス（プラムポックスウイルス）の防除について

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/ppv/ppv.html